

安全・便利なスポット暖房「エンセキ」

スポット暖房「エンセキ」なら、熱が光のように直進して照射する部分だけを暖める暖房器具。

必要なところだけを暖めるため、広い空間で少人数が使用する場合、室内全体を暖める一般的な暖房に比べて経済的です。

また使い方によっては、石油ストーブと比べてもメリットが多いのも特徴です。石油ストーブなどで工場・倉庫などの大空間を暖房するには、作業人数に関係なく空間全体を暖める必要があります。少人数(3人以下)を暖房する場合、スポット暖房「エンセキ」なら必要な場所だけを効率よく暖めますので、エネルギーの消費低減に貢献します。ご購入はもちろん、レンタルの相談などお気軽にお問い合わせください。



スポット暖房「エンセキ」

エルエフ新聞

10月10日 木曜日

◎発行日：毎月10日◎発行
者：トヨタL&F宮崎株式会社

フォークリフトでの荷役作業時に、気をつけたい10のこと

フォークリフトでの事故原因第一位は「**墜落・転落**」です。マストを上げたまま走行したり、急旋回するなど、バランスを崩すことによる転落や、フォークに人を乗せて昇降し、バランスを崩して墜落するといった事故が毎年多く発生しています。以下の10の事柄を遵守し、事故のない安全作業を心がけましょう。

(フォークリフトを用いて荷役作業を行う労働者の10の遵守事項)

- (1) フォーク等の下部への立入禁止をすること及びフォークリフトの用途外使用(荷のつり上げ、人の昇降など)をしないこと。(労働安全衛生規則第151条の9、同151条の14)
- (2) 偏荷重が生じないように積載し、荷崩れ防止措置を行うこと。(労働安全衛生規則第151条の10)
- (3) シートベルトを装備しているフォークリフトの運転時は、シートベルトを使用すること。
- (4) 停車時には、フォーク等を最低降下位置に置き、逸走防止措置を確実にすること。(労働安全衛生規則第151条の11)
- (5) マストとヘッドガードにはさまれる災害防止のため、運転席から身を乗り出さないこと。
- (6) 急停止、急旋回を行わないこと。
- (7) 荷役作業場の制限速度を遵守すること。(労働安全衛生規則第151条の5)
- (8) バック走行時には、後方(進行方向)確認を徹底すること。
- (9) フォークに荷を載せての前進時は、前方(荷の死角)の安全確認を徹底すること。
- (10) 構内を通行する時は、他者が運転するフォークリフトとの接触防止のため、安全通路を歩行するとともに、荷の陰などから飛び出さないこと。

←滋賀労働局作成資料(<https://jsite.mhlw.go.jp/shiga-roudoukyoku/content/contents/000380541.pdf>)より抜粋



見直そう！ 作業開始前点検 (9)

各オイルと冷却水の点検



法令によって1日1回義務づけられている「作業開始前点検」。本連載では毎月1つの点検項目を取り上げ、改めて点検内容をおさらいします。

各オイルの状態を点検していきます。

- ① エンジンオイル・作動油・ブレーキフルードが規定量あるか、また汚れを点検します。
- ② リザーバータンク内の冷却水が規定量あるか点検します。

8月販売ランキング

8月のフォークリフト販売台数です。

- | | | |
|----|---|----------------------------------|
| 1位 |  | カウンタータイプフォークリフト
(ディーゼル)新型ジェネオ |
| 2位 |  | カウンタータイプフォークリフト
(ガソリン)新型ジェネオ |
| 3位 |  | カウンタータイプフォークリフト
(電動)GENE-B |

特設ページ

フォークリフトと物流についての詳しい情報はコチラのQRコードを読み込んで公式ウェブサイトをご覧ください。



エルエフ 宮崎

検索

担当連絡先